

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成14年度病虫害発生予察情報について（送付）

このことについて、平成14年度病虫害発生予察速報第9号を発表したので送付します。

平成14年度病虫害発生予察速報第9号

- 1 対象作物 冬春ナス
- 2 病虫害名 すすかび病
- 3 発生地域 県下全域
- 4 発生程度 多
- 5 発生状況  
11月5半旬調査の結果、発病葉率は平均5.5%（平年：0.8%、前年：5.5%）であり、また、発生ほ場率は62.5%（平年：8.5%、前年50%）と過去10か年で最も高く、今後の拡大が予想される。
- 6 防除上注意すべき事項
  - （1）病勢が進展してからでは防除が困難であるため、発病初期のうちに防除を徹底する。
  - （2）本病は薬剤防除だけで病勢の進展を抑えるのは困難なので、換気を行い、多湿にならないよう管理する。ただし、急激な温度・湿度変化は避ける。
  - （3）草勢の低下で発病が助長されるので、着果量の調節や、適切な肥培管理を行う。
  - （4）発病葉は除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
  - （5）本病の分生胞子は、曇天・雨天時に形成され、晴天時に飛散するので、曇天・雨天後の晴天日に薬剤散布すると効果が高い。
  - （6）本病原菌の各種薬剤に対する感受性低下を避けるため、同一系統薬剤を連続して使用せず、数系統の薬剤を組み込んだロ-テ-ション散布を行う。

## ナスのすすかび病防除薬剤一覧

薬 剤 名		濃 度 ( 倍 ) 処 理 量	使 用 基 準	
			時 期 ( 収 穫 前 )	回 数 ( 以 内 )
ジ	ロブラール水和剤	1,000	前日	4
E	トリフミン水和剤	3,000	前日	5
	トリフミン乳剤	2,000	前日	5
	トリフミンジェット	50 g / 400 m <sup>2</sup>	前日	5
スト	アミスター20フロアブル	2,000	前日	4
他	ベルコート水和剤	3,000	前日	3
	ダイマジン水和剤	1,500	前日	3

\* 平成14年度野菜病虫害防除基準より引用

ジ：ジカルボキシイミド系剤、E：EBI剤、スト：ストロビルリン系剤  
 他：その他の系統剤